

## 30 患者構成の指標

### ▶項目の解説

各病院の患者構成を視点とし、複雑な患者（診断群分類点数表の入院期間Ⅱの長い患者）をより多く診療していることを評価します。

DPCの入院期間Ⅱはほぼ全国平均の在院日数+1日ですが、入院期間Ⅱが長いほど、退院までに日数を要し、一般には治療の難しい状態の患者であると考えられます。脳腫瘍や頭頸部腫瘍の化学療法、出生体重1,500g以下の新生児等で入院期間Ⅱが長くなります。

いわば、「複雑性の指標」ということができますが、数値は1.0が全国平均であり、大きい方がより難しい状態の患者を多く見ていることを示します。大学病院の特性を示す指標と言えますが、指標29の在院日数の指標も同時に考える必要があります。

### ▶定義

厚生労働省のDPC評価分科会の公開データ。

